

# 伝言らん

※掲載については広報広聴係へご相談ください。締め切りは発行日の1か月前です。

## 催しもの

### ■金写クラブ写真展

デンパーク写真講座受講生らの作品を展示します。

とき▶10月6日(日)までの午前8時～午後8時 ところ▶三河安城物産コーナー(新幹線三河安城駅1階) 入場料▶無料 問い合わせ▶伊藤公男さん(住吉町/☎97)0388)

### ■三河・名古屋形象派 第12回水曜グループ展

とき▶10月3日(水)～6日(土)午前9時～午後5時30分(6日は午後5時まで) ところ▶文化センター 入場料▶無料 問い合わせ▶大林喜代子さん(知立市/☎82)5457)

### ■歴史探訪ウォーク

碧海・幡豆ウォーキング協会の10月例会。

とき▶10月6日(日)午前9時 集合場所▶安城公園 コース▶安城公園→安城歴史の散歩道(桜井古墳群と三河一向一揆めぐり)→安城公園(約10～20km) 参加費▶500円 その他▶雨天決行、弁当持参 問い合わせ▶西川阿羅漢さん(今池町/☎98)7652)

### ■ふれあいダンスパーティー

収益金の一部を安城善意銀行に預託します。

とき▶10月13日(日)午後1時30分～4時 ところ▶中部公民館 参加費▶500円 問い合わせ▶石川ただしさん(池浦町/☎09)0(6338)3739)

### ■障害者ふれあい体験会

障害体験をしながらクイズラリーでデンパークを巡ります。

とき▶11月17日(日)午後0時30分～3時30分(受付時間は午前9時～正午) ところ▶デンパーク 参加費▶500円 その他▶送迎あり(実費。事前に申し込みをしてください) 申し込み・問い合わせ▶10月31日(日)までに「ででむし」会長・深谷康予さん(百石町/☎72)0816)へ

### ■ウォーキング ～明治用水を歩こう～

明治用水土地改良区設立50周年記念事業。

とき▶11月17日(日)午前9時スタート(雨天の場合は11月24日(日)に順延) 集合場所▶明治用水会館 コース▶同会館→水の駅→明治川神社→同会館(約8.5km・3時間) 定員▶500人 参加費▶無料 申し込み・問い合わせ▶10月31日(日)までに明治用水土地改良区総務課(☎76)6241)へ

## ただいま募集中

### ■エアロビクスの会

とき▶毎週木曜日午前10時～11時30分 ところ▶中部公民館 対象▶女性 会費▶月額1600円 その他▶子ども同伴も可 申し込み・問い合わせ▶秋葉信子さん(池浦町/☎76)9564)へ

### ■フラワーアレンジメント

とき▶毎週火曜日午後2時30分～8時 ところ▶文化センター 会費▶花代として3000円程度 申し込み・問い合わせ▶林めぐみさん(新田町/☎090)7861)6171)へ

### ■華旺会

俳句・俳画の会。

とき▶毎月第2・4金曜日午後6時30分～9時 ところ▶文化センター 会費▶月額3000円 申し込み・問い合わせ▶井上俊一さん(御幸本町/☎76)2607)へ

### ■あすなろ学習クラブ

元教師がていねいに教えます。

とき▶毎週火・木曜日①小学3～6年生⇒午後5時～7時 ②中学1・2年生⇒午後7時～9時 ところ▶総合福祉センター 科目▶①国語・算数 ②英語・数学 対象▶本来、能力を持ちながら伸び悩んでいる子、欠席がちで基礎学力に不安のある子など 申し込み・問い合わせ▶シルバークリニック(☎76)1415)へ

## まこようかい 木曜会

代表◆兵藤淳子さん(相生町) ☎76)4427

## われらの仲間



## 若さへのアタックもNo.1

昭和54年、市体育館の完成と同時にスタートしたママさんバレーボール教室が前身。後に各小学校区ごとにチームが分かれ、錦町小学校区は当時の活動日にちなんで「木曜会」と名づけられました。メンバーは10人で、現在は土曜日の夜に練習を行っています。

メンバー間には上下23歳という年齢差がありますが、「生活の知恵とか、バレー以外のことでいろいろな教えてもらっています。食事会やお茶を飲みに行くことも楽しみの一つです」とメンバーが話すように、チームワークのよさがその差をまったく感じさせません。

「バレーボールの魅力は、たとえチーム内に実力の差があったとしても、それをカバーしあえるところですね。わたしたちがやっている9人制は特にそうです」と語るメンバー。しかし、差と言っても、学生時代や実業団などでバレーを経験している人が多いため、レベルは高く、安城市のリーグはもちろん、西三河、県の試合にも積極的に参加しています。そして、そこでまた人の輪がどんどん広がっていくことも、大きな魅力の一つだそうです。「でも、未経験の人でも大歓迎。何しろ、わたしたちの目的は、試合に勝つことよりもストレス発散が第一ですから。年齢や地区を問わず気軽に声をかけてください」と話す「木曜会」の人の輪は、ますます広がりを見せていきます。

